



食 三河

～都市と地方の新たな関係の構築～

2026年 2月3日(火) 14:00~17:20 参加無料

会場／北海道大学 学術交流会館2階 講堂(札幌市北区北8条西5丁目8-1 北海道大学内)

主催／北海道大学、日立北大ラボ

共催／北海道経済連合会、北海道科学技術総合振興センター、北海道大学 社会・地域創発本部、フードロス削減コンソーシアム 後援／北海道

私たちにとって最も身近で必要不可欠な「食」には、世界的な食料危機や気候変動、フードロスや農業の担い手減少など、多くの課題が顕在化しています。本フォーラムでは、未来の食、そして農業・食産業はどう変化するのか、行政、アカデミア、企業の有識者と議論を深め、農業が営まれる疎開空間の課題解決を通じた都市と地方の新たな関係を構想します。皆様のご参加をお待ちしております。

Kazuto Ataka

基調講演①

「風の谷」という希望～残すに値する未来をつくる～

安宅 和人 [慶應義塾大学環境情報学部 教授／LINEヤフー株式会社 シニアストラテジスト]

マッキンゼーにて11年間、多岐にわたる分野で商品・事業開発やブランド再生に携わった後、2008年よりヤフーへ。2012年から10年間CSO(Chief Strategy Officer)を務め、2022年よりZホールディングス(現LINEヤフー)にてシニアストラテジスト(現兼務)。2016年より慶應義塾SFCで教え、2018年秋より現職。データサイエンティスト協会 設立理事・スキル定義委員長。経済産業省「新産業構造ビジョン」、内閣府/CSTI「AI産業化ロードマップ」「大学ファンド構想」、デジタル防災未来構想、数理・データサイエンス・AI教育モデルカリキュラムおよびプログラム認定制度、知的財産戦略ビジョンの策定など、科学技術およびデータ・AIをめぐる多様な政策形成に関わる。都市集中しかないかのように見える未来に対し、知恵と技術を活かし、自然と人が共存するもう一つの未来の創造を目指して、2017年に構想づくりを始動。以降、専門家・地域実践者とともに課題の構造的な見極めの上、構想を深め、実装に向けた検討、取り組みを重ねている。東京大学大学院 理学系研究科 生物化学専攻修士課程修了。イェール大学 脳神経科学Ph.D.。著書に『イシューからはじめよ』、『シン・ニホン』、近刊に『「風の谷」という希望』など。



Tomoyasu Marutani

基調講演②

地域を“残す”大義～過疎の課題は都市の食の課題～

丸谷 智保 [株式会社セコマ 会長]

1954年北海道生まれ。慶應義塾大学法学部卒業。1979年に北海道拓殖銀行へ入行し、1997年に営業企画部次長を務める。1998年、シティバンク エヌ・エイに入行。2005年には顧客・人材開発本部本部長に就任。2007年、株式会社セイコーマート(現・株式会社セコマ)専務取締役に就任。2008年に取締役副社長、2009年に代表取締役社長、2020年に代表取締役会長に就任。2025年より現職。このほか、北海道経済同友会代表幹事、北海道経済連合会常任理事、北海道EU協会会长、在札幌スペイン王国名誉領事を務める。



Yasuhiro Nakajima

講演①

食と農業のサステナビリティと新たな潮流

中嶋 康博 [女子栄養大学 教授／東京大学 名誉教授]

1959年埼玉県生まれ。東京大学大学院農学系研究科博士課程修了。東京大学農学部助手、大学院農学生命科学研究科助教授、准教授、教授を経て、2025年より現職、東京大学名誉教授。現在、食料・農業・農村政策審議会会長、日本農林規格調査会会長、農林水産省国立研究開発法人審議会会長、日本学術会議会員、国土審議会特別委員、国土強靭化推進会議委員、生協総合研究所理事長。またノウフク・アワード審査委員長、食育活動表彰審査委員長なども務める。主な著書は、『食品安全問題の経済分析』『食の安全と安心の経済学』(単著)、『食の経済』(編著)、『フードシステムの経済学』(共著)。



Takanori Nishimura

講演②

リジェネラティブ食料生産で拓く未来

西邑 隆徳 [北海道大学 副学長]

北海道大学農学研究院長・農学院長・農学部長(2019~2022年)を務めた後、2024年～現職。J-Peaksリジェネラティブ農林水産研究拠点(IRAFF)代表。自然環境を再生し地域社会を維持しながら「食」をつくる「リジェネラティブ(環境再生型)食料生産システム」の社会実装を目指している。



日立北大ラボ

Hitachi Hokkaido University Laboratory

2016年に株式会社日立製作所が国立大学法人北海道大学とのオープンイノベーションの拠点として北海道大学キャンパス内に開設した共同研究ラボ。従来の共同研究の枠組みを越えた産学官地域連携により、北海道が直面している少子高齢化や過疎化といった社会課題解決と持続可能な地域社会の実現をめざした共生のまちづくりを推進している。

講演③

食の安定供給と環境再生に向けた日立の挑戦

橋本 貴之 [日立製作所 日立北大ラボ ラボ長]

1994年、日立製作所 研究開発グループ 日立研究所入社。電化・電動化プロダクトとこれを活用したシステム・ソリューションの研究開発に従事。2016年モーターシステム研究部部長、2018年ドライブシステム制御研究部部長、2023年ニアプロジェクトマネージャを経て、2024年から現職。地域課題ソリューションの研究開発を主導。博士(工学)、技術士(電気電子部門)



Takayuki Hashimoto

パネルディスカッション 北海道における食・農を起点とした地域創生

パネリスト 松岡 市郎 [東川国際文化福祉専門学校 企画コーディネーター(前東川町長)]

1951年東川町生まれ。1972年 東川町奉職。農林課長補佐、社会教育課長、税務課長を経て、2003年に東川町長に就任。3のK(子供、教育、健康)の推進、3つの文化(大雪山文化、家具デザイン文化、写真文化)と日本語文化を生かした世界に開かれた町づくりに取り組み、1995年国勢調査以降、一度も前回調査を下回らず人口は微増維持を続け、2009年には文化芸術創造都市部門で文化庁官表彰を受ける。東川町長任期満了後(2023年3月)、北工学園で企画コーディネーターとして学生募集に関わっている。



Hiromi Moriya

パネリスト 森谷 裕美 [株式会社森谷ファーム 社長]

北見市留辺蘂町で130年以上農業を続ける森谷ファームの四代目。2015年に代表取締役に就任し、北見市で初の女性農業委員を務める。自社圃場50haで、基幹品目のタマネギ27haをはじめ、ビート・小麦・白花豆を生産。短大卒業を機に就農し、家族従業員と現場に立ちながら、女性が働きやすい職場環境づくりや農福連携に取り組む。2015年に「農業の未来をつくる女性活躍経営体100選」、2025年に「第20回HAL農業賞(優秀経営賞)」を受賞。GLOBALG.A.P.とJGAP認証を取得するとともにSDGs10項目を達成。2015年に設立した「るべしべ白花豆くらぶ」会長として地域農業の魅力発信にも尽力している。



Sayuri Oyama

パネリスト 小山 彩由里 [株式会社SHAKOTAN海森学校 社長]

茨城県出身。大学卒業後、アウトドアメーカーに勤務し、登山用品の販売や顧客対応を通じて、野外活動や自然体験の価値を伝える業務に従事。2022年より北海道積丹町地域おこし協力隊として着任。環境教育やエコツアーや地域資源を活かしたプログラムの企画・運営を行うとともに、漁業者や地域住民、行政、企業など多様な関係者と連携し、官民連携による取り組みに携わる。2025年2月、これまでの実践をもとに株式会社SHAKOTAN海森学校を設立。現在は、町が推進する「海業」の取り組みにおいて、町の歴史、文化、自然、産業など地域を学ぶ「体験」を軸としたプログラムを展開。地域内外の人々の交流や水産業を中心とした地域への理解促進に取り組む。



Kan Higashiyama

モデレーター 東山 寛 [北海道大学 農学部 教授]

1967年札幌市生まれ。北海道大学大学院農学研究科博士課程を修了後、秋田県立農業短期大学、秋田県立大学生物資源科学部を経て2004年に北海道大学に赴任。2021年より現職。専門は農業経済学、農業経営学。近著(編著)に『危機に瀕する日本農業:新基本計画は脱却の道筋を示したか(日本農業年報70)』(筑波書房、2025年)。



TIME SCHEDULE 当日の講演予定

※プログラム、出演者は変更される場合があります。

13:30～	開場
14:00～14:05	開会挨拶 賀金 清博 [北海道大学 総長]
14:05～14:10	共催者挨拶 藤井 裕 [北海道経済連合会 会長]
14:10～15:00	基調講演① 「風の谷」という希望～残すに値する未来をつくる～ 安宅 和人 [慶應義塾大学環境情報学部 教授／LINEヤフー株式会社 シニアストラテジスト]
15:00～15:30	基調講演② 地域を“残す”大義～過疎の課題は都市の食の課題～ 丸谷 智保 [株式会社セコマ 会長]
15:30～15:35	休憩
15:35～15:55	講演① 食と農業のサステナビリティと新たな潮流 中嶋 康博 [女子栄養大学 教授／東京大学 名誉教授]
15:55～16:15	講演② リジェネラティブ食料生産で拓く未来 西邑 隆徳 [北海道大学 副学長]
16:15～16:30	講演③ 食の安定供給と環境再生に向けた日立の挑戦 橋本 貴之 [日立製作所 日立北大ラボ ラボ長]
16:30～17:10	パネルディスカッション 北海道における食・農を起点とした地域創生 [パネリスト] 松岡 市郎 [東川国際文化福祉専門学校 企画コーディネーター(前東川町長)] 森谷 裕美 [株式会社森谷ファーム 社長] 小山 彩由里 [株式会社SHAKOTAN海森学校 社長] [モデレーター] 東山 寛 [北海道大学 農学部 教授]
17:10～17:15	ご所感 渡邊 麻衣子 [農林水産省 研究推進課長]
17:15～17:20	閉会挨拶 鮫嶋 茂穂 [日立製作所 執行役常務、CTO兼 研究開発グループ長]

北海道大学×日立北大ラボ 第6回フォーラム 2026

食 口 三 ライ

～都市と地方の新たな関係の構築～